

氏名	金野 倫子	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	老年精神医学、睡眠医学、精神病理学、女性心身医学				
学位	博士（医学）				
学歴	1990年東北大学医学部医学科卒業				
経歴	2014年10月～日本大学医学部精神医学系精神医学分野診療准教授、2017年10月～埼玉県立大学保健医療福祉学部教授、日本大学医学部精神医学系精神医学分野臨床教授				
所属学会（役職）	日本老年精神医学会・専門医・指導医・評議員、日本睡眠学会・評議員・委員会委員、日本精神神経学会専門医、日本女性心身医学会・認定医・評議員、日本総合病院精神医学会・専門医、認知症診療医、日本医師会認定産業医 他				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Differences in psychosocial factors and sleep study findings between delayed sleep-wake phase disorder and hypersomnia in teenagers	共著	あり	○	Sleep and Biological Rhythms; (21) ; P.241-247	Yayumi Kamiyama, Yoshiyuki Kaneko, Kaori Saitoh, Ryuji Furihata, <u>Michiko Konno</u> , Makoto Uchiyama, Masahiro Suzuki	2023.5
2	Displaced center of pressure on the treated side in individuals with essential tremor after radiofrequency ablation: a longitudinal case-control study	共著	あり	○	Frontiers in Neurology; 29:14:1182082	Atsuya Sato, Takaomi Taira, Kazuya Kitada, Toshiki Ando, Toyohiro Hamaguchi, <u>Michiko Konno</u> , Yoshinori Kitabatake,	2023.6
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	日本睡眠学会ダイバーシティ委員会のアジェンダ設定に向けて	共同	日本睡眠学会第45回定期学術集会、第30回日本時間生物学会学術大会合同大会 横浜		○尾崎 章子、山寺 亘、新谷 朋子、 <u>金野 倫子</u> 、有竹 清夏、森槌 康貴	2023.9	
2	臨床検査技師における就労継続のための勤務環境整備（多様な働き方）に関する調査	共同	日本睡眠学会第45回定期学術集会、第30回日本時間生物学会学術大会合同大会 横浜		○森槌 康貴、有竹 清夏、山寺 亘、新谷 朋子、 <u>金野 倫子</u> 、尾崎 章子	2023.9	
3	レジスタンストレーニングによる夜間睡眠中のδパワー及び熱放散の変化－若年成人女性での検討－	共同	日本睡眠学会第45回定期学術集会、第30回日本時間生物学会学術大会合同大会 横浜		○伏見 もも、飯島 竜星、木山 水月、久保川 媛加、菅原 このみ、高倉 麻里子、野口 史織、 <u>金野 倫子</u> 、五月女 香、野々村 ゆかり	2023.9	
4	大学生等を対象とした自尊感情・反すう特性が依存形成に与える心理的特徴に関するアンケート調査研究	共同	第58回日本アルコール・アディクション医学会学術総会 札幌		○田中健一、佐藤晋爾、 <u>金野倫子</u>	2023.10	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	該当なし						

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	精神医学Ⅱ	○	15	精神医学における診断、治療、精神疾患と社会の関係における問題などについて、自ら考え、取り組むことができるように、多様なテーマを様々な形式で取り上げ、講義+小演習を行った。
2	理学療法特別演習 (1コマ)		1	国家試験を踏まえて、これまでの精神医学的知識を整理し、図解を活用し理解を図った。
3	高次脳機能と病態制御		6	異常精神現象である幻覚を糸口として高次脳機能の共通構造を取り出しつつ、最近の神経ネットワーク理論を概観し、研究や治療における新たな取り組みを志向する際に役立つ視点を解説した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし			
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	該当なし			
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	名 副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県運営適正化委員会苦情解決合議体	委員	2017.11～現在	
2	埼玉県運営適正化委員会運営監視合議体	委員長代理	2018.3～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会委員	2017.10～現在	
2	全学的委員会及びセンター業務等	障害学生アドバイザー	2017.10～現在	
3	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携を学ぶ講座実施部会	2017.10～現在	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			